

平成25年度 第二回物療校友会卒業教育學術部放射線部会

平成25年7月20日（土）

18:30～20:30

場所 大阪市立難波学習センター

JRなんばOCATビル 4F

参加者数： 25名(大学生10名参加)

《プログラム》

18:30 ～ 18:50 『永久磁石で MRCP をとろう』

永寿会 福島病院 木下 淳一 氏

18:50 ～ 19:10 『人工膝関節置換術(TKA)における術前 CT 撮影

の有用性について』

近畿大学医学部附属病院 中央放射線部 永元 啓介 氏

10分休憩

19:20 ～ 19:50 『放射線治療基礎講座 固定具の必要性』

近畿大学医学部附属病院 中央放射線部 西 環 氏

19:50 ～ 20:20

『スペクトラル CT による造影剤濃度の

定量表示に関する基礎検討』

物療大学 教授 岩元 新一郎 氏

今回から物療大学での開催が困難となり、難波OCAT内 難波学習センターをお借りすることになりました。初めての開催場所ということもあり、参加人数に若干の不安を覚えていましたが、ふたを開けてみてびっくり。お借りした教室狭しと若者たちが参加してくれました。

さて今回の内容ですが、

木下君の発表は最近病院に入ったオープン型MRIの立ち上げから、MRCPのシーケンス作成までの苦労秘話を解りやすくひも解いてくれました。

永元君の発表は依然CTの研究会で発表された内容のリメイク版です。膝の解剖から始まり、近畿大学でのTKAの手法やその現状。そこへの技師のかかわり方。など、少々マニアックではありましたが、興味深いお話でした。

また、小生の話は、放射線治療を始めた方や興味のある方がちらほらと増えてこられましたので、放射線治療の最も基本となるシミュレーション、特に固定具作成についてでした。なぜ、固定具が必要なのか？少し手もご理解いただけたら幸いです。

最後に、今回は、少々大人の事情により、演題取下げがありましたので、そのピンチヒッターとして(恐れ多いですが)、物療大学の岩元教授に御講演いただきました。

内容は、スペクトラルCTとデュアルCTのシミュレーション比較でした。PCでのシミュレーション実験が主な内容でした。将来のCT装置に夢を馳せる内容でした。

今回の発表者に若手がいなかったのは少々残念ではありますが、卒業後5～10年の方々が頑張っ様々な取り組みで中心を担っていることが解りうれしく思えました。岩元先生の内容は大変興味深く今後ご教授いただきたく考えております。

最後に、『物療大学』の大学生さん達が今回も参加されています。10名(女性4名、男性6名)と多くの方が参加され、終了後の懇親会でも、卒業生と大学生の意見交換が活発に行われました。学生たちの今のトピックスはやはりもうすぐ始まる臨床実習への不安と期待がおもでありました。

卒業生・大学生の参加者がともに増え、お互いが助け合えるこの関係が今後も続くことを期待し、また、この勉強会から『輪』が広がっていくことを切に願っています。

参加された方々ありがとうございました。今回、参加できなかった方、次回の参加をお待ちしております。

次回はいよいよ皆様お待ちかねの一泊研修です。10月12日(土)～13日(日)を予定しております。皆様のふるってのご参加をお待ちしております。

詳細については後日掲載いたします活動予定をご覧ください。



今回から会場は難波OCAT内難波市民学習センターとなりました。



校友会の辻会長がご参加くださいました。 次回一泊研修のCM中。



木下君、解りやすかったです。



永元君、マニアックですね。



総評は西浦先生に頂きました。

(文責 平成16年度卒 西 環)